開実用 昭和62—60770

⑲ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62-160770

(i)Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和62年(1987)10月13日

F 02 M 35/10

101

J -6657-3G D -6657-3G

審查請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称

エンジンの吸気装置

H

本

⑪実 昭61-50298

多出 昭61(1986)4月2日

饲考 案 者 賀 原

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マッダ株式会社内

饱考 案者 富 中

敬

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マッダ株式会社内

案 者

理

砂代

之 利 信

広島県安芸郡府中町新地3番1号 広島県安芸郡府中町新地3番1号

マツダ株式会社内 マツダ株式会社内

份考 者 包出 顖 マッダ株式会社

弁理士 永田 良昭

広島県安芸郡府中町新地3番1号

1、考案の名称

エンジンの吸気装置

- 2. 実用新案登録請求の範囲
 - 合成樹脂で形成し、エンジン本体に取付けられる吸気マニホルドと、

上記吸気マニホルドのエンジン木体側閉口 部に設けられ、

外周面がエンジン本体の吸気ポートの内周面と所定間隙を有して突出する筒状の突出部と、

上記突出部外周面と吸気ポート内周面との 間の間隙に配設されるシール部材とを備え た

エンジンの吸気装置。

3 . 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、たとえば、軽量化の目的で吸気マニホルドをナイロン系合成樹脂で形成したようなエンジンの吸気装置に関する。

- 1 -

947

公開実用 昭和6 160770

(従来技術)

従来、上述例のエンジンの吸気装配としては、 例えば、特間昭 5 8 - 2 8 5 8 4 号公報に記載の 如く、合成樹脂製の吸気マニホルドを、エンジン 木体としてのシリンダヘッドに取付けた装置があ る。

しかし、上述の従来装置においては次の如き問題点があった。

すなわち、上述の合成樹脂製の吸気マニホルドは、シリンダヘッドよりも熱膨張率が大きいので、エンジン高温時に、上述の吸気マニホルドが熱変形し、吸気マニホルドおよびシリンダヘッド間のシール性が劣化する問題点を有していた。

(考案の目的)

この考案は、樹脂製吸気マニホルドの熱膨張を吸収する特異な構造により、良好なシール性を確保することができるエンジンの吸気装置の提供を目的とする。

(考案の構成)

この考案は、合成樹脂で形成し、エンジン木体

- 2 -

に取付けられる吸気マニホルドと、上記吸気マニホルドのエンジン本体側間口部に設けられ、外周面がエンジン本体の吸気ポートの内周面と所定間際を有して突出する筒状の突出部と、上記突出部外周面と吸気ポート内周面との間の間隙に配設されるシール部材とを備えたエンジンの吸気装置であることを特徴とする。

(考案の効果)

この考案によれば、エンジン高温時に上述の樹脂製吸気マニホルドが熱膨張するが、この膨張代を上述のシール部材で吸収することができるので、吸気マニホルドおよびエンジン本体間の良好なシール性を確保することができる効果がある。

加えて、上述の突出部の形成により、吸気マニ ホルドの位置決めが容易となる効果がある。

(実施例)

この考案の一実施例を以下図面に基づいて詳述する。

図面はエンジンの吸気装置を示し、シリンダブロック(図示せず)に固定したシリンダヘッド 1



公開実用 昭和6 160770

には、吸気ボート2と排気ボート3とを形成し、 上述の吸気ボート2に吸気弁4を、また排気ボート3に排気分5をそれぞれ配設し、これら各弁4. 5の開閉制御により上述の各ポート2.3をピストン上部の燃焼室6に適宜連通すべく構成している。

上述の吸気ポート2側のシリンダヘッド1には、 ナイロン系合成樹脂により形成した吸気マニホル ド7を介してアルミニウム製のサージタンク8を 取付け、このサージタンク8の下部にはEGRガス(約250℃)を還流させるためのEGRパイプ9を接続している。

上述の吸気マニホルドではボルト10,11およびナット12を用いてシリンダヘッド1端面に取付けると共に、この吸気マニホルドでのシリンダヘッド1側の間口部には、外周面がシリンダヘッド1の吸気ボート2の内周面と所定間隙 g を有して突出する筒状の突出部でaを、樹脂により一体形成している。

そして、上述の突出部7 a 外周面と吸気ポート

2内周面との間の上述の間隙 g にはラバーやアスペスト等のシール部材13を配設している。

この実施例では、上述の吸気ポート2におけるシリンダヘッド1端部側に大径段差2aを形成し、この大径段差2a部分に上述のシール部材13および突出部7aを配設して、吸気マニホルド7の内周面7b、突出部7aの内周面7cおよび吸気ポート2の内周面2bをそれぞれ面一状に連通させている。

また上述のシリンダヘッド1の端面と吸気マニホルド7の取付用フランジ部7dとの間には、フランジ部7d側に環状の凹荷を形成することで、シール用のOリング14を介設している。

さらに前述のポルト10外周面と、吸気マニホルド7の取付用フランジ部7dとの間にも、熱変形吸収用のラバーやアスペスト等からなるシール部材15を介設している。

図示実施実施例は上記の如く構成するものにして、以下作用を説明する。

いま、上述のサージタンク8前位におけるスロ

公開実用 昭和6 160770

ットルバルブを開くと共に、吸気弁4の開弁タイミングに対応して燃料噴射弁から吸気ポート 2 に燃料を噴射すると、ピストンの下降によるシリン ダ内の負圧によって混合気が吸いこまれる。

この吸入行程および圧縮、爆発、排気の各行程の4行程の繰返しによりエンジン本体としてのシリンダブロックおよびシリンダヘッド1が加熱されて高温となるエンジン高温時に、上述の樹脂製吸気マニホルド7が熱膨張するが、この吸気マニホルド7の膨張代を、筒状の突出部7aと大径段を2aとの間に介設したシール部材13並びにボルト10外周に配設したシール部材15で良好に吸収することができる。

この結果、特に吸気マニホルド7とシリンダヘッド1との間のシール性を充分に確保することができる効果がある。

また上述のエンジン駆動時には、排気系からの EGRガスがEGRパイプ9を介してサージタン ク8に退流されるが、このサージタンク8をアル ミニウム製とすることで、吸気系の熱変形を抑制 している。

以上要するに、突出部7a外周面と吸気ボート 2内周面との間の間隙gにシール部材13、具体 的にはラバーおよびアスベスト等の耐熱弾性材を 介設しているので、エンジン高温時に熱膨張する 樹脂製吸気マニホルド7の膨張代を上述のシール 部材13で吸収して、この吸気マニホルド7とシ リンダヘッド1との間の良好なシール性を確保す ることができる効果がある。

加えて、上述の突出部7aの形成により、吸気マニホルド7の位置決めも容易となる効果がある。 この考案の構成と、上述の実施例との対応において、

この考案のエンジン本体は、実施例のシリンダ ヘッド1に対応するも、

この考案は、上述の実施例の構成のみに限定されるものではない。

すなわち、上述の実施例においてはレシプロエンジンを例示したが、ロータリエンジンに適用してもよいことは勿論である。



公開実用 昭和62 160770

4. 図面の簡単な説明

図面はこの考案の一実施例を示すエンジンの吸 気装置の断面図である。

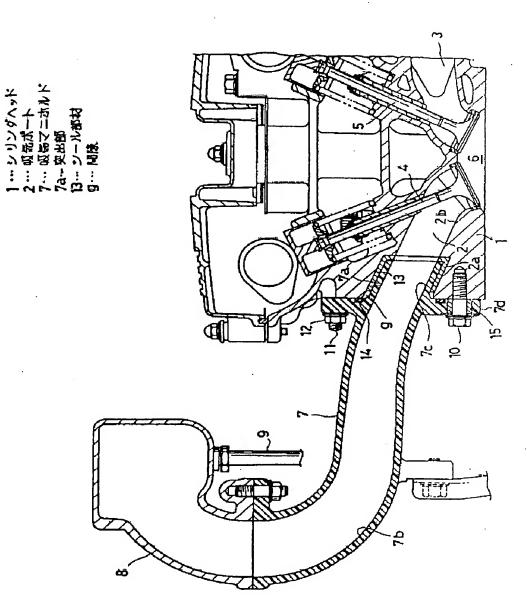
1 … シリンダヘッド 2 … 吸気ポート

7 ··· 吸気マニホルド 7 a ··· 突出部

13 ··· シール部材 g ··· 閲 隙

代理人 弁理士 永 H 良





東周12-160770

代型人 非理士 永 田 良 昭

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.